

三井住友海上プライマリー生命 ~開業10周年記念~

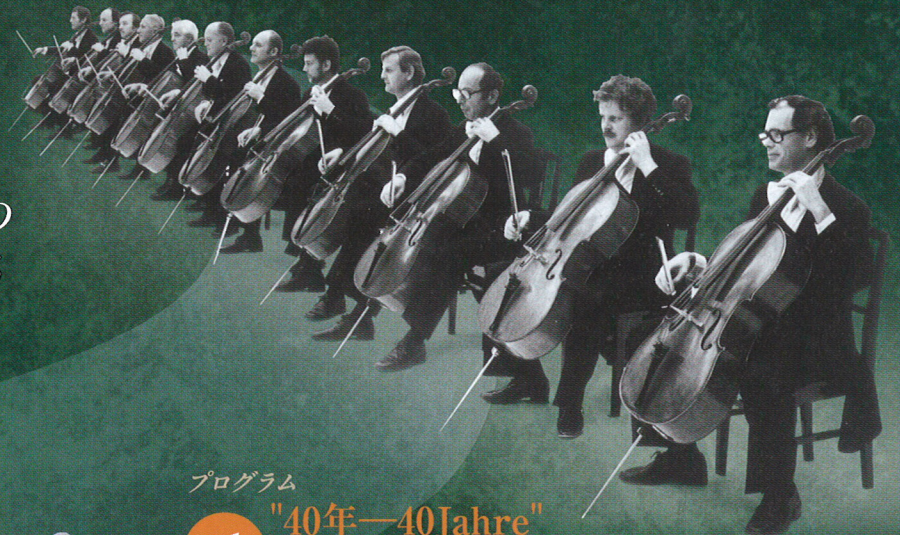
ベルリンフィル12人のチェリストたち

Die 12 Cellisten der Berliner Philharmoniker



結成40周年記念公演

世界の「ベルリンフィル」の
“12人のチェリスト”が奏でる
世界一美しい音色とすごす
感動のひとつ



プログラム

Part 1 "40年—40Jahre"

ジュゼッペ・ヴェルディ 《聖歌四篇》より **アヴェ・マリア**
ダヴィッド・フンク 組曲 二長調より
序奏—アルマンド—クーラント—アリア—ジグ
ボリス・ブラッヒャー 12の独奏チェロのための
ブルース、エスパニョーラ、
ルンバ・フィルハーモニカ
エイトル・ヴィラ=ロボス ブラジル風バッハ第1番より前奏曲と序奏

Part 2 "キャラヴァン—Caravan"

ユリウス・クレンゲル 12のチェロのための《讃歌》作品57
ジャン・フランセー 《朝のセレナーデ》より
W. カイザー=リンデマン ‘12人’のためのボサ・ノヴァ(ブラジル風変奏曲)
ザ・ビートルズ ミッシェル
(J. レノン、P. マッカートニー / 三枝成彰 編)
エンニオ・モリコーネ ザ・マン・ウィズ・ザ・ハーモニカ
—映画『ウエスタン』より
グレン・ミラー ムーンライト・セレナーデ
D. エリントン、J. ティゾール キャラヴァン
(曲目は一部変更となる場合がございます)

2012年

7/1 日 14:00開演(13:30開場)
サントリーホール

◆全指定席 S席9,000円 A席8,000円 B席7,000円 C席6,000円

3月24日[土] 前売開始

- ◆ノア・チケット 03-3417-7000
- ◆チケットぴあ 0570-02-9999
(音声認識予約・Pコード:163-427)
<http://pia.jp/t/>
- ◆ローソンチケット 0570-084-003
(Lコード予約・Lコード:31327)
0570-000-407 (オペレーター対応)
<http://l-tike.com/>
- ◆e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
- ◆サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999
- ◆日経ショップ 03-6256-7682

主 催=日本経済新聞社
特別協賛=三井住友海上プライマリー生命
後 援=ドイツ連邦共和国大使館
GOETHE-INSTITUT TOKYO 東京ドイツ文化センター
企 画=NOAH

◆ご予約・お問い合わせ=ノア・チケット 03-3417-7000



偶然と幸運、そしてたゆまぬ努力の40年

1966年7月、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のチェリスト、ルドルフ・ヴァインスハイマーの誕生日に、同楽団のチェリスト4名で四重奏曲を演奏し、同年秋のベルリンフィルの日本ツアー中にNHKなどで再び演奏した。それが大きな成功を取ったため、オーケストラの12人のチェリストだけで1つのグループを結成するというユニークなアイデアが生まれた。ただし、このようなアンサンブルが演奏できる曲はあまりなく、他の作品を編曲してデビューするつもりもなかったのだ。

しかし偶然、オーストリア放送協会が、ドイツのチェリストで作曲家のユリウス・クレンゲル(1859~1933)作『12のチェロのための讃歌』を再発見し、それまで数えるほどしか演奏されなかったこの曲を、ベルリンフィルのチェリストたちに演奏するよう依頼、彼らは1972年にザルツブルク・イースター音楽祭で演奏した。その際、「ベルリンフィル12人のチェリストたち Die 12 Cellisten der Berliner Philharmoniker」を名乗って、このアンサンブルは正式に誕生したのである。

翌1973年、作曲家ボリス・ブラッヒャー(1903~1975)から、彼ら「12人」のためのオリジナル曲『12の独奏チェロのためのブルース、エスパニョーラ、ルンバ・フィルハーモニカ』を作曲してもらったという幸運に恵まれた。さらに彼らは自分たちに適した曲を見つけていき、それを編曲することによって「12人」独自のコンサートプログラムを作り上げていくという努力も怠らなかった。

「12人」の完全プログラムによる初めての演奏会が1973年10月26日、早稲田大学・大隈講堂で行われた。栄光に満ちた「12人」の経歴は日本からスタートしたのである。これにつ

いて、10月29日付の南ドイツ新聞は次のように報道している。

—大隈講堂は音楽史の一片を体験しようとする学生たちで大混雑していた。ブルージーンズの「初」聴衆たちはベルリンのチェロ12人の「ただならぬ」響きに深く感動し、黒人霊歌2曲が追加演奏されねばならぬほどだった。長い長い拍手の嵐の後、「12人」はようやく夜のベルリンフィルの公演へと去っていったのである。

同プログラムはその後、本国ドイツやオーストリアでも演奏され、聴衆を魅了した。

多くの著名な作曲家がこの「12人」のために作品を贈った。ヘルムート・エーダー(1916~2005)の『メロディア〜リトミカ』、ジャン・フランセー(1912~1997)の『オーバード(朝のセレナーデ)』、ゲルハルト・ヴィンベルガー(1923~)の『12人のチェリスト・管・打楽器のための「プレイズ」』…。ヴィンベルガーのこの曲はヘルベルト・フォン・カラヤン(1908~1989)の勧めで作曲され、1976年夏のザルツブルク音楽祭でカラヤン自身の指揮によって初演された。

今年、「ベルリンフィル12人のチェリストたち」は結成40周年を迎え、単独来日も12回目を数えるが、これほど彼らを熱狂的に

迎えているのは、「12人」の40年の歴史に日本が分かちがたく結びついていることの証しでもある。

ブラッヒャー、フランセーなど「12人」のために書かれたオリジナル曲、17世紀のダヴィッド・フンクからクレンゲル、グレン・ミラー、ザ・ビートルズに至る珠玉の作品の数々…。

「12人」の“40年”を凝縮したプログラムを楽しみたい。



「ベルリンフィル12人のチェリストたち」を指揮するカラヤン(1976年9月、「ベルリン芸術週間」にて)

しあわせ、ずっと。

個人年金保険を通じ、お客さまの豊かで充実したセカンドライフのお手伝いをしたい。
これからも、お客さま第一という「原点(プライマリー)」を大切に、
たくさんの笑顔をつくりだしてまいります。

個人年金は、未来への贈りもの。

MS&AD

三井住友海上プライマリー生命

資料請求
各種問合せ
受付時間：月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)9:00～17:00

0120-125-104

<http://www.ms-primary.com>

